



MEDICAL CORPORATION
SEIJUKAI

OCAT予防医療センター

がんの早期発見には
PET がん健診が有効です

がんの早期発見に効果的な健診

「PETがん健診」

PET検査に、MRI検査、CT検査、超音波検査、血液検査(腫瘍マーカー)を組み合わせて総合的に診断することによって、がんを発見する精度を高めています。



MEDICAL CORPORATION
SEIJUKAI

医療法人 聖授会
OCAT予防医療センター

<https://www.seijukai.jp/ocat/>

がん早期発見のメリット

がんを早期発見できれば、現在の高度な医療技術の進歩によって、その受ける恩恵は多大です。すなわち、早期がんであればほとんどの方が、内視鏡下手術などの低侵襲(肉体的負担を極力低減)治療による根治の期待が高まります。OCAT予防医療センターでがんが発見された方のうち、85%以上の方が早期がん、またその90%以上の方が低侵襲手術治療を受けられ早期に社会復帰されています。

医療法人 聖授会

PETがん健診

OCAT予防医療センター

An ounce of prevention is worth a pound of cure

予防に勝る治療なし





ワンフロアで移動の負担を軽減



快適性のアップテイク室



ゆったりとした更衣室



近未来・宇宙をイメージした 上品で落ち着きある空間

床面にはイタリア製の大理石を敷き詰め、フロアを支える柱や壁面は強化ガラスで包み込んで、透明で清潔感にあふれた明るい内部空間としています。

淡いブルーの間接照明が映えるフロアは、病院という既成概念を超え、まるで宇宙空間のような未来的イメージを醸し出しています。

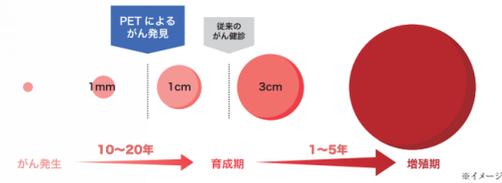
アップテイク室(安静室)をはじめ、フロアや診察室、検査室に配置された調度・備品はイタリア・カッシーナ社製。

これも「受診者第一」という経営理念を追求した必然の結果です。



PET検査とは

PET(ペット)検査とは、がんを検査する方法の一つです。PET検査では一般のレントゲン等では発見しづらかった1cm程度の小さながんの早期発見が可能です。

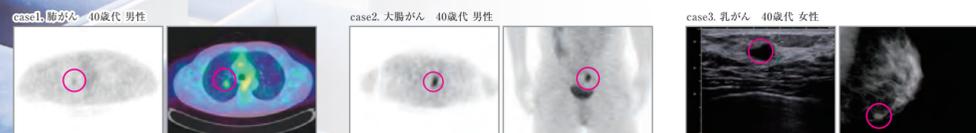


PET検査のしくみ

がん細胞が多くのブドウ糖を取り込む性質を利用し、ブドウ糖に似た成分であるFDG(放射性医薬品)を体内に注射します。その後、FDGを感じるカメラで、体内のFDG分布を画像化することで、FDGが多く集まるところが分かり、がん発見の手がかりとなります。

MRI・CT・超音波など、他の検査と同時受診で高い精度

FDGが集まるのはがん細胞だけではありません。脳や膀胱、胃など生理的にブドウ糖が集まりやすい臓器や筋肉痛、炎症などの様々な要因でFDGが集まります。そこで、MRI検査・CT検査・超音波検査・X線検査・内視鏡検査などを合わせて受診することでPET検査の短所を補い、より精度の高い診断材料を得ることができます。



各種検査を組み合わせたコースをご用意

聖授会では、各種検査を組み合わせた健診コースを標準と考え、がん発見の精度をあげるはもちろん、生活習慣病や三大疾病などの発見が期待されるコースをご用意しています。

♡ 注射1本のみ

注射1本だけ受け、あとは横になっているだけで全身のスクリーニングが可能です。

🔍 精度の高さ

比較的小さながんでも、広範囲での発見が期待できます。
※他の検査と組み合わせる事で、さらに精密に「がんの診断」を行うことができます。

🕒 検査の速さ

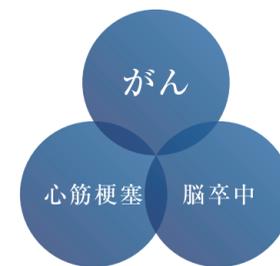
PET検査は30分程度で終わります。
※PET検査の所要時間です。各コースの所要時間は、別紙検査項目表をご覧ください。

フロア紹介

700坪の広大な平面フロアは、待合スペースを開くように、各検査室を配置。移動の負担や不安の少ない導線設計を取り入れています。また、プライバシーを配慮した半個室のアップテイク室や広くゆったりとしたロッカーを採用し、快適性を重視しています。

An ounce of prevention is worth a pound of cure

予防に勝る治療なし



総合がん健診

総合的にがんの早期発見と、三大疾病(がん・心筋梗塞・脳卒中)のチェックを目的とする「総合がん健診」。

PET検査の他に、MRI検査(頭部・骨盤部)、CT検査(胸部・上腹部)、超音波検査(腹部・前立腺・甲状腺・頸動脈)など充実の内容で総合的に体のチェックをおこないます。体の隅々まできちんと調べてみたいという方におすすめのコースです。撮影画像は経験豊富な医師が2名以上で読影し、結果はわかる範囲で当日にご説明。詳細結果は2週間後に画像CD-Rと一緒に郵送します。

総合がん健診の簡単な流れ



1日で全ての検査をおこなう事ができます。



各種検査の実施



PET検査



結果説明

i 放射線について

PET検査の被ばく量は約2.2ミリシーベルトです。胃のX線検査が約4ミリシーベルトですから、身体に重大な影響を及ぼすとは考えにくい被ばく量です。

被ばく量比較		
PET	通常生活での世界年間平均	胃部X線
2.2mSv	2.4mSv	4.0mSv